

2026年度 社会実装支援（研究開発）助成内容

[ホーム](#) > [助成事業](#) > [社会実装支援（研究開発）助成](#) > 2026年度 助成内容

募集要項

趣旨 国民の日々の生活を明るく楽しくする社会の実現に寄与することを目的として、「暮らしの向上」につながる技術・素材・サービスの社会実装を目指す研究開発に対して幅広く助成を行います。

研究助成対象

1. これを実用化することにより、国民の日々の生活を明るく楽しくする社会の実現に貢献しうる研究を対象とします。
2. 「社会実装を目指す」研究が対象となり、具体的には、実用化の見込みがあり、基礎研究が終了した後の実践的な研究を指します。

応募資格

1. 日本の大学・高等専門学校・研究所等に勤務し、主体的に研究を進めている常勤の研究者及び大学院後期課程在籍者並びに博士研究員を含みます。（所属機関長の承認が必要です）
2. 本財団に結果の報告書を提出可能な方。

※同一または類似の研究について、他の財団等の助成金（或いは競争的資金）を受けることが確定している場合や予定がある場合は、申請書類にその旨を記載下さい。

※他の財団等から支援を受けている場合にも応募頂けますが、支援額が十分に足りていると判断された場合には、優先順位が下がることがあります。

助成金額

助成金額は1件あたり上限100万円、助成件数は5件程度を予定。

※採択にあたり、本財団は予算の減額調整を行うことがあります。

※応募者本人及び共同研究者の件費および所属する機関の間接経費や共通経費、あるいは一般管理費等（オーバーヘッド）は助成の対象に含みません。

※助成金の使途は、申請された研究課題の遂行に要する物品の購入、その他研究推進に必要な費用とし、研究の目的と計画に照らして合理的な範囲とします。支出内容は記録に残し、研究終了後に「収支決算報告書」を「成果報告書」に併せて提出してください。

（報告方法・様式については、後日対象者に通知します）

※助成金額に残余が生じた場合はご返却を願います。

[ホーム](#)[当財団について](#)

- 設立の目的
- 財団概要
- メンバー紹介
- 財務資料

[助成事業](#)

- 社会実装支援（研究開発）助成
- 実用化支援（技術開発）助成

[お知らせ](#)[お問い合わせ](#)[個人情報保護方針](#)

© CAINZ Digital Innovation Foundation All rights reserved.

(2) 申請画面入力

1. 申請入力画面の指示に従い、必要な事項を入力してください。

【入力情報】

・基本情報

・研究題目と申請金額

・研究の目的

研究によって明らかにすること、暮らしの向上のどのように通じるのか記載してください。

・研究の意義

社会への貢献、必要性およびご自身の研究における当研究の必要性を記載してください。

・研究の特徴

研究における革新性・先見性・独創性について記載してください。

・研究の概要

説明資料

研究計画や方法を誤りなく理解できるよう、できる限り平易な表現を用いて簡潔に説明してください。
また、当該説明を補完する資料として、図表を添付※してください。

説明動画

上記の説明資料を解説するためのプレゼン動画を5分以内で提出してください。動画の提出形態はMP4・AVI・MOVとし、容量は50MBが上限です。

・研究実施計画

研究目的を達成するための研究計画と方法について記載してください。

・助成対象期間の成果目標（技術目標・実用化目標）

・申請者の研究業績

過去5年以内の論文・著書・受賞歴等で主なもの5つ程度

・当研究に関連する国内外での研究状況

・申請助成金の支出経費内訳

・現在受領中または過去に受領した外部資金

2. 添付資料をアップロードしてください。

MENU

[ホーム](#)[当財団について](#)

- 設立の目的
- 財団概要
- メンバー紹介
- 財務資料

[助成事業](#)

- 社会実装支援（研究開発）助成
- 実用化支援（技術開発）助成

[お知らせ](#)[お問い合わせ](#)[個人情報保護方針](#)

© CAINZ Digital Innovation Foundation All rights reserved.

その他注意事項

助成金の採用内定を受けた後、研究計画等に重要な変更、中止をしようとする場合には、速やかに文書にて、本財団まで報告をしてください。

以下の事項が発生した場合は、助成金の交付取り消しまたは一部の返還を求めることがあります。

1. 申請書に記載された活動を実施しなかったとき
2. 助成金を支給目的に沿わない用途に使用したとき
3. 申請内容に大幅な変更が生じたとき
4. 申請書の内容に虚偽の記載が判明したとき
5. 必要書類の提出を怠ったとき
6. 疾病、不慮の事故、災害などのために活動を継続する見込みがなくなったとき
7. 助成対象者として適当でない事実があったとき
8. 前各号の他、理事会が適当でないと判断したとき

個人情報の 取扱いについて

1. 推薦書および助成金申請書に含まれる個人情報は、研究助成の選考及び選考結果の通知のために使用いたします。
2. 研究助成者が決定した場合は、研究代表者のお名前、所属機関、役職及び研究テーマを公表いたします。

お問い合わせ

本サイトの[お問い合わせフォーム](#)よりご連絡ください。

オンライン申請には
アカウントの発行が必要です



[＞ ホーム](#)[＞ 当財団について](#)

- 設立の目的
- 財団概要
- メンバー紹介
- 財務資料

[＞ 助成事業](#)

- 社会実装支援（研究開発）助成
- 実用化支援（技術開発）助成

[＞ お知らせ](#)[＞ お問い合わせ](#)[＞ 個人情報保護方針](#)

© CAINZ Digital Innovation Foundation All rights reserved.

[＞ ホーム](#)[＞ 当財団について](#)

- 設立の目的
- 財団概要
- メンバー紹介
- 財務資料

[＞ 助成事業](#)

- 社会実装支援（研究開発）助成
- 実用化支援（技術開発）助成

[＞ お知らせ](#)[＞ お問い合わせ](#)[＞ 個人情報保護方針](#)

© CAINZ Digital Innovation Foundation All rights reserved.



[ホーム](#)[当財団について](#)

- 設立の目的
- 財団概要
- メンバー紹介
- 財務資料

[助成事業](#)

- 社会実装支援（研究開発）助成
- 実用化支援（技術開発）助成

[お知らせ](#)[お問い合わせ](#)[個人情報保護方針](#)

© CAINZ Digital Innovation Foundation All rights reserved.

選考2026年12月1日～
2027年1月31日

財団

選考委員による選考

**助成対象者
決定**

2027年2月中旬

財団

理事会での承認

通知（贈呈式招待）2027年2月末まで

贈呈式

2027年3月中旬

助成
対象者

贈呈式出席（会場・日程未定）

※2024年は個別での贈呈で実施

報告

2028年5月末まで

助成
対象者

1. 成果報告書

2. 支出報告書

オンライン申請システム
（成果報告・支出報告）

財団

受理

[書式ダウンロード](#)

MENU

[ホーム](#)[当財団について](#)

- 設立の目的
- 財団概要
- メンバー紹介
- 財務資料

[助成事業](#)

- 社会実装支援（研究開発）助成
- 実用化支援（技術開発）助成

[お知らせ](#)[お問い合わせ](#)[個人情報保護方針](#)

© CAINZ Digital Innovation Foundation All rights reserved.

よくあるご質問

Q 「所属機関長の承認が必要」とありますが、所属機関長は学部・研究科長、研究院長等の部局長クラスという認識でもよろしいでしょうか。違う場合は学長や総長となりますでしょうか。



Q 「所属機関長の承認が必要」とありますが、書面等の記録又は提出の必要性はありますか。



Q 「所属機関長の承認が必要」とありますが、所属機関長が推薦者というご指定でしょうか。



Q 推薦者の要件について詳細の明記がありませんが、なにか条件等がありますか。



Q 推薦にあたり、1人の推薦者が推薦できる件数に制限がありますか。



Q 必要書類として所属機関の決算書又は謄本のコピーとありますが、決算書の場合は2023年度の決算書を添付することでもいいでしょうか。また、学校法人の場合は法人の決算書で問題ないでしょうか。

[助成事業TOPに戻る](#)[実用化支援（技術開発）助成TOPに戻る](#)

MENU

[＞ ホーム](#)[＞ 当財団について](#)

- 設立の目的
- 財団概要
- メンバー紹介
- 財務資料

[＞ 助成事業](#)

- 社会実装支援（研究開発）助成
- 実用化支援（技術開発）助成

[＞ お知らせ](#)[＞ お問い合わせ](#)[＞ 個人情報保護方針](#)

© CAINZ Digital Innovation Foundation All rights reserved.